

学生のための知的財産教室

研究推進・知的財産センター研修会 知的財産権セミナー

平成22年12月21日(火)、本学栄養学科卒業研究生(3年生)を対象にした知的財産権セミナーを本学で開催いたしました。青森県知的財産支援センター・特許情報活用支援アドバイザー 田中 智様を講師にお招きして「特許電子図書館(IPDL)を使用した検索方法及び実践」と題した講演等が行われました。知的財産権の概論として、特に特許権について解説がなされ、続いて、IPDLを使用した検索実習が行われました。

他に本県発の大ヒット商品「おからこんにゃく」や本学教員の出願特許検索など、様々な検索を行いました。

検索が成功した瞬間、教室からは驚きの声上がるなど、学生の皆さんも知的財産に関心を持っていただいたようです。セミナー後のアンケートにおいても、「知的財産への関心が深まった」、「身近なものが例として挙げられ、分かりやすかった」などの御意見をいただきました。今後も学内において知的財産に関するセミナー等を企画しておりますので、よろしくお願いいたします。



青森県産業技術センターと教育・研究で連携

本学は青森県の産業振興を目指し、青森県産業技術センターと教育・研究分野での連携協定を締結いたしました。平成22年10月27日に本学で調印式を開催。県産の農林水産資源を活用した製品開発や、健康・医療福祉関連産業の創出に向けて、共同で取組を進めていきます。

栄養学科の課題としては「ガマズミの生理機能研究と新規製品開発」、「モチ小麦を用いた高齢者食品の開発研究」、「エチゼンクラゲの有効利用」、「キノコの有効成分研究」などがあげられます。

理学療法学科や看護学科は「人に合わせる起立動作支援用いすの開発」、「掻痒(そうよう)感患者へのキュウリローション塗布効果」、「健康寿命アップ研究」などがあげられます。

製品化や実用化に向け、特に工業的分野における青森県産業技術センターの構造解析など技術力、器具、ソフト開発力が期待されます。

青森の底力になるよう、研究開発をすすめていきます。

